



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月29日

上場会社名 日本航空電子工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6807 URL http://www.jae.com
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 小野原 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 青木 和彦 (TEL) 03-3780-2752
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	192,212	28.1	16,172	105.4	15,029	255.7	10,969	241.9
29年3月期第3四半期	150,062	5.1	7,872	△53.8	4,225	△74.2	3,208	△73.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 12,195百万円(214.1%) 29年3月期第3四半期 3,882百万円(△66.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	120.70	120.66
29年3月期第3四半期	35.31	35.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	193,271	119,456	61.7
29年3月期	183,196	109,022	59.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 119,316百万円 29年3月期 108,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
30年3月期	—	15.00	—		
30年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	19.3	19,500	61.7	17,000	85.7	12,000	78.1	132.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P6「2. (3) 四半期連結財務諸表及び主な注記(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	92,302,608株	29年3月期	92,302,608株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,412,547株	29年3月期	1,445,174株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	90,881,724株	29年3月期3Q	90,856,349株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 6
(連結の範囲の重要な変更)	P 6
(継続企業の前提に関する注記)	P 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P 6
(セグメント情報等)	P 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、景気回復が続く米国・欧州経済や堅調なアジア経済に支えられ、また、わが国においても底堅い内外需を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの関連するエレクトロニクス市場では、携帯機器市場は中国スマートフォンの減速が見られたものの、市場全体としては成長が継続したほか、自動車市場も堅調に推移しました。また、産業機器市場は特に中国において工場の自動化投資が幅広い分野で拡大したことなどから、F A関連を中心に好況が継続しました。

このような状況のもと当社グループは、主力のコネクタ事業を中心に成長市場・機器に対し、積極的なグローバルマーケティングと新製品開発活動のスピードアップによる受注・売上の拡大を図るとともに、内製化の更なる強化によるコストダウン、設備効率化及び諸費用抑制など、経営全般にわたる効率化を推進し業績向上に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、上述の堅調な各市場の需要を捉え、1,922億12百万円（前年同期比128%）、利益面においては、営業利益161億72百万円（前年同期比205%）、経常利益150億29百万円（前年同期比356%）、親会社株主に帰属する四半期純利益109億69百万円（前年同期比342%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産が減少しましたが、売上債権やたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ100億75百万円増加の1,932億71百万円となりました。

負債は、仕入債務や未払法人税等の増加に対し、約定返済による借入金の減少などから、前連結会計年度末に比べ3億59百万円減少の738億15百万円となりました。

純資産は、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ104億34百万円増加の1,194億56百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3%改善の61.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年度3月期の通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成29年10月25日に公表いたしました予想値を下記のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	234,520	17,490	15,450	11,200	123.23
今回修正予想 (B)	250,000	19,500	17,000	12,000	132.04
増減額 (B-A)	15,480	2,010	1,550	800	
増減率 (%)	6.6	11.5	10.0	7.1	
(ご参考) 前期連結実績 (平成29年3月期)	209,510	12,059	9,154	6,736	74.15

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,529	41,254
受取手形及び売掛金	42,112	47,742
たな卸資産	16,140	18,743
繰延税金資産	1,893	1,939
その他	7,766	8,604
貸倒引当金	△90	△103
流動資産合計	104,353	118,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,059	23,341
機械装置及び運搬具(純額)	22,894	21,640
工具、器具及び備品(純額)	8,224	8,103
土地	5,791	6,090
建設仮勘定	6,130	3,953
有形固定資産合計	67,100	63,129
無形固定資産	3,094	3,467
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,546	2,614
その他	6,241	6,017
貸倒引当金	△139	△139
投資その他の資産合計	8,648	8,492
固定資産合計	78,843	75,090
資産合計	183,196	193,271

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,184	41,703
短期借入金	8,118	7,390
未払法人税等	1,495	3,421
取締役賞与引当金	60	90
その他	10,840	9,284
流動負債合計	59,698	61,889
固定負債		
長期借入金	11,451	9,216
退職給付に係る負債	2,392	1,674
その他	631	1,035
固定負債合計	14,475	11,925
負債合計	74,174	73,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,690	10,690
資本剰余金	14,498	14,507
利益剰余金	82,958	92,125
自己株式	△1,089	△1,069
株主資本合計	107,058	116,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	919	1,416
為替換算調整勘定	783	1,503
退職給付に係る調整累計額	134	142
その他の包括利益累計額合計	1,837	3,063
新株予約権	126	140
純資産合計	109,022	119,456
負債純資産合計	183,196	193,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	150,062	192,212
売上原価	126,626	159,378
売上総利益	23,436	32,834
販売費及び一般管理費	15,563	16,661
営業利益	7,872	16,172
営業外収益		
受取利息	35	45
受取配当金	86	89
為替差益	—	352
その他	101	115
営業外収益合計	222	603
営業外費用		
支払利息	59	61
固定資産除却損	354	1,628
為替差損	3,230	—
その他	225	56
営業外費用合計	3,869	1,746
経常利益	4,225	15,029
税金等調整前四半期純利益	4,225	15,029
法人税、住民税及び事業税	1,056	4,078
法人税等調整額	△39	△18
法人税等合計	1,017	4,059
四半期純利益	3,208	10,969
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,208	10,969

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	3,208	10,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83	497
為替換算調整勘定	556	719
退職給付に係る調整額	34	8
その他の包括利益合計	674	1,225
四半期包括利益	3,882	12,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,882	12,195
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲の重要な変更)

前連結会計年度において非連結子会社であった盟友技研㈱は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	135,615	5,871	8,067	507	150,062	—	150,062
セグメント利益 又は損失(△) (注)1	11,187	525	△710	259	11,262	△3,389	7,872

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費3,389百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	176,918	6,379	8,282	631	192,212	—	192,212
セグメント利益(注)1	18,628	624	105	233	19,592	△3,420	16,172

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費3,420百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。